県南地域における県立特別支援学校の在り方の今後の対応方針について

資　料　4

「第2期宮城県特別支援教育将来構想実施計画(前期)」(令和7年3月策定)
県南地域における知的障害特別支援学校の狭隘化の解消を図るとともに、経年により老朽化が進む船岡支援学校の校舎等に関する対策を講じる必要があるため、今後の児童生徒数の推移や各学校の配置関係、校舎等の建物の状況などを踏まえた上で、県南地域における特別支援学校の在り方について検討していく。

1　現状と課題

○ **知的障害支援学校の児童生徒数増加**：H28　1,955人→R8　2,434人(+24.5%)
○ **小中学校特別支援学級の児童生徒数増加**：H28　2,978人→R7　5,450人(+８３%)
● **狭隘化**：R5施行「特別支援学校設置基準」における面積充足率
R8現在：角田支援学校本校で８６%、白石校２７%
⇒　R16見込で角田本校６３%、白石校２８%
● **校舎老朽化**：角田支援学校　築４４年
船岡支援学校　築５４年
● **長距離通学**：角田支援本校は県南地域南東部に位置し、県南地域北西部からの**スクールバス片道１時間超**
● **高等学園のニーズの高まり**：**軽度知的障害の生徒の学びの場**を整備する必要性
(R8高等学園入試倍率：1.16倍)

3　県南地域の今後の対応方針(案)

角田支援(知的障害)、**同白石校**(知的障害)、**船岡支援**(肢体不自由)を集約。
併せて、**高等学園（軽度知的障害）を新設。**
※ 旧大河原商業高校跡地

【 建設候補地 】
旧大河原商業高校跡地
(大河原駅から徒歩約10分)

【 整備対象 】
新校舎、寄宿舎、グラウンド、実習畑
駐車場（バス待機場）、体育館 等

【 事業日程(予定) 】
・令和８～９年度　解体工事
・令和９年度　大規模事業評価
・令和10～15年度　設計、新校舎建設等
・令和16年度供用開始

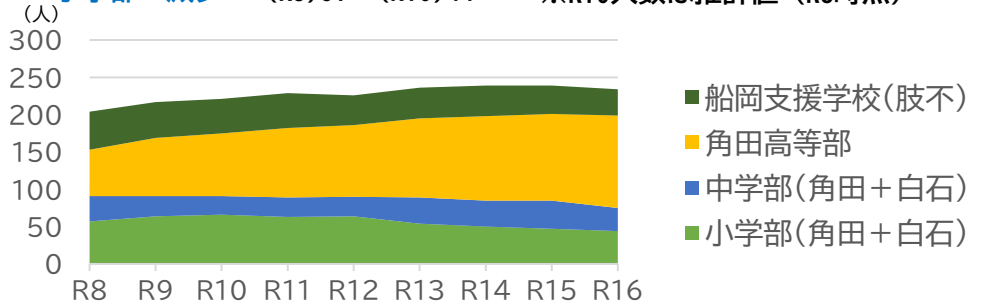


2　角田・船岡支援学校の児童生徒数推移の見込み(R8→R16)

■ 角田支援学校（知的障害）
・高等部：倍増　(R8)62→(R16)126
・中学部：横ばい　(R8)34→(R16)40
・小学部：減少　(R8)57→(R16)44

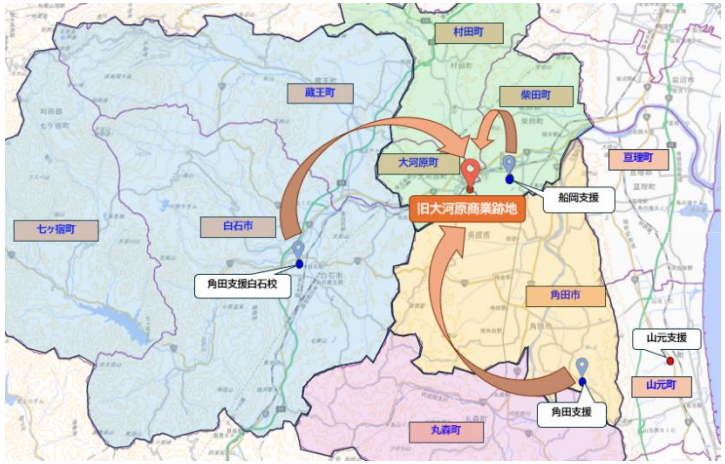
■ 船岡支援学校（肢体不自由）
・減少　(R8)51 → (R16)34

※R16人数は推計値（R8時点）



4　期待される効果等　障害種の異なる児童生徒が同じ校舎で学ぶ学校へ

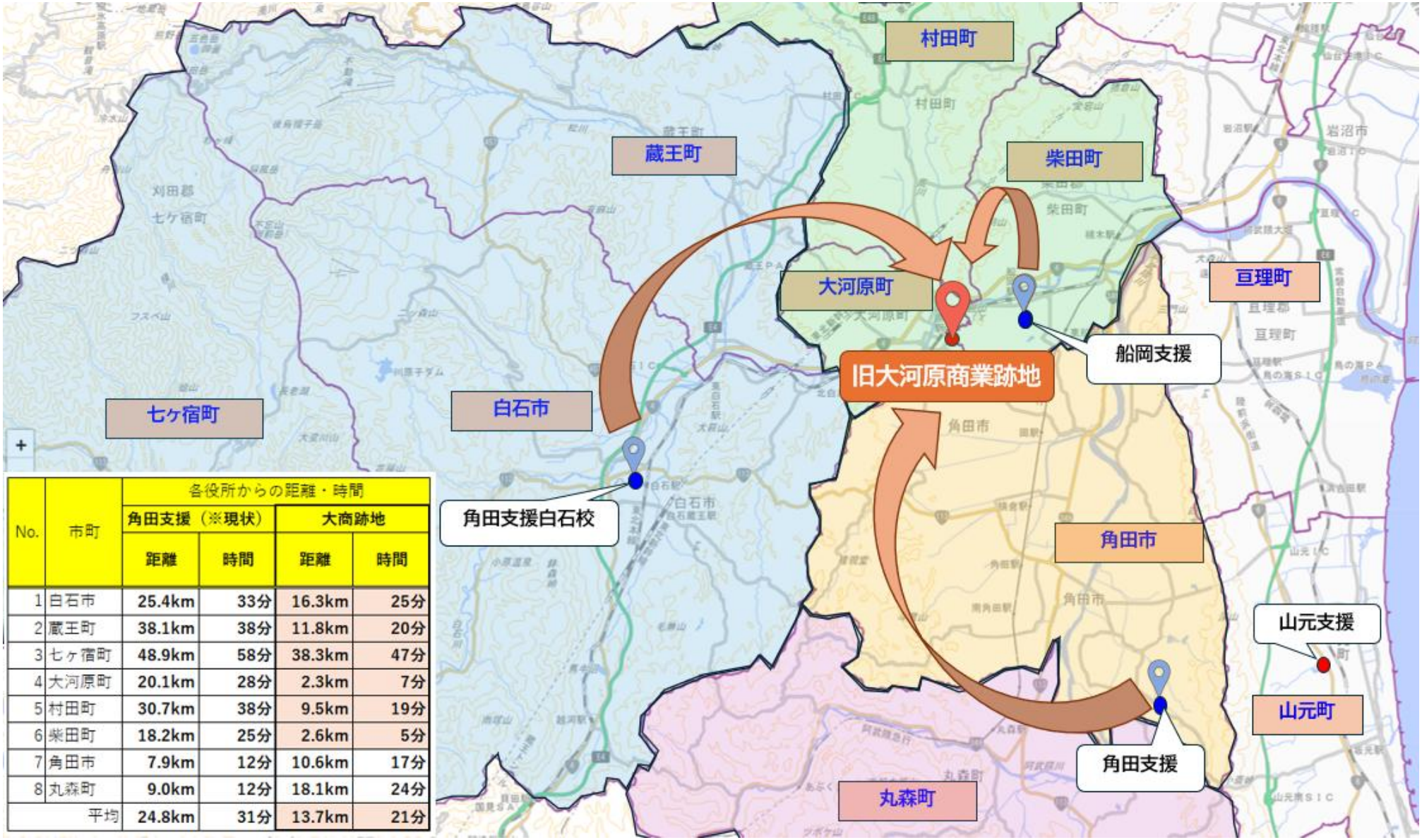
○ **インクルーシブ教育の実現**…「知肢併置校」として障害種を超えた相互理解を促進し、**共生社会の実現に向けた教育**を実施
○ **県南地域の特別支援教育の充実**…特別支援学校のセンター的機能を活かし、**地域支援を強化**
○ **校舎老朽化・狭隘化の解消**…**面積充足率100%を実現**し、**最適な学習環境**を整備
○ **長距離通学の緩和**…県南地域の中心部への配置により、**通学負担を軽減**
○ **軽度知的障害生徒への対応**…**適切な支援を受けながら学ぶ環境**を整備



県南地域における県立特別支援学校の在り方の今後の対応方針について

資　料　4

各学校等位置図



No.	市町	各役所からの距離・時間			
		角田支援（※現状）		大商跡地	
		距離	時間	距離	時間
1	白石市	25.4km	33分	16.3km	25分
2	蔵王町	38.1km	38分	11.8km	20分
3	七ヶ宿町	48.9km	58分	38.3km	47分
4	大河原町	20.1km	28分	2.3km	7分
5	村田町	30.7km	38分	9.5km	19分
6	柴田町	18.2km	25分	2.6km	5分
7	角田市	7.9km	12分	10.6km	17分
8	丸森町	9.0km	12分	18.1km	24分
	平均	24.8km	31分	13.7km	21分